



すぎ たに いく お
杉 谷 育 生

しん わ かい
津 和 会

遊具撤去について子どもの気持ちで対応を

問 芸濃小学校の増築工事と、運動場の遊具の撤去、移設および再設置とを分割発注したことにより、現在、低学年用遊具のみが撤去されている。増築工事が終わり、遊具が再設置されるのは令和2年3月であり、長期間、遊具のない遊び場は、子どもたちの心身に影響を及ぼしている。遊具撤去は子どもの気持ちになって対応するべきではないか。

子どもたちが充実した生活を送れるよう努力

答 低学年が主に使用している運動場に普通教室を増築することから、そこにあった遊具を工事前に一時撤去したものである。今後、工事が始まると、運動場の使用が制限されるが、時間単位の利用やボール遊びのルールを考えることで、安全に使用ができるよう、児童会でも話し合いが行われている。

学校は、学んだり、遊んだり、また育っていく大切な場所であると認識しており、子どもたちが充実した生活を送れるように努める。



●その他の質疑・質問●

- スポーツ奨励補助金の内容と範囲の見直しについて
- 交通安全対策として、消えている横断歩道や停止線等の早期改善を
- 信号機撤去の話があるが、地元の見意見を十分聞くべきではないか など



▲消えた低学年用遊具の状況



いわ わき けい いち
岩 脇 圭 一

いっ しん かい
一 津 会

多言語通訳システムと多文化共生への考えは

問 補正予算によりタブレットによる多言語通訳システムが導入されるが、どの程度のやり取りについて対応できるのか。また、このシステムで対応しきれない場合「やさしい日本語」で対応するとのことであるが、職員研修などの取り組みは。4月に改正出入国管理法が施行され、日本語教育推進法も成立したが多文化共生の取り組みを今後どのように進めるのか。

双方が理解し合える環境を整える

答 タブレットによる多言語通訳は、電話や通訳アプリとは違い、画面上のオペレーターと表情や書類を見せながら話すことで、高度な通訳が可能となる。しかし、全ての言語をカバーすることは難しいため、日本語の表現や文章を簡素化した外国人が理解しやすい、やさしい日本語の研修を昨年度から窓口担当職員を対象に実施している。

現在、入国直後の外国人技能実習生に、生活マナーや交通ルール、また、災害時の避難所の利用など、生活一般についての研修を実施している。外国人が日本を学ぶ環境を整えることで、双方にとって、暮らしやすい共生社会の実現に注力する。

●その他の質疑・質問●

- 新たに敬和・養正・新町地区を担当する地域包括支援センターを設置する狙いは
 - 新設、再配置の検討基準は
- 災害時の情報伝達について
 - 避難所運営について
- 公園の子育て環境について
 - 公園遊具の安全性確保は
- ひとり親家庭への支援について
 - 就労支援の利用状況は など



▲既に健康福祉部窓口で試行されている多言語翻訳システム